

「リモートバイオDX」

キックオフシンポジウム

—研究者・データ・実験機器をつなぐ次世代研究基盤—

2024年3月7日(木) 13:00~16:00

先着100名様

東京国際フォーラム D1会場

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

オンライン同時開催 (接続先は参加登録後にご案内)

現地受付開始: 12:30~ オンラインは12:50より入場可能



参加申し込みフォームより
事前登録が必要です
参加費無料

生命科学・医学研究のデジタルトランスフォーメーション(リモートバイオDX)を実現するためにはアカデミア・通信事業者・機器開発メーカーの密接な連携が不可欠です。

次世代のバイオ研究環境の構築による"Remote World Collaboration"の実現に向けた議論を本シンポジウムでは行います。

Program

開会挨拶 南學 正臣 東京大学 大学院医学系研究科長


来賓挨拶 釜井 宏行 文部科学省 研究振興局
ライフサイエンス課長

講演 山本 晋  NTT東日本 先端テクノロジー部
オープンイノベーションセンター長

IOWNが実現する未来と
リモートバイオDX基盤の実現

岡田 康志  東京大学 大学院医学系研究科 教授


データ駆動・AI駆動による生命科学
研究のデジタルトランスフォーメーション(バイオDX)

吉川 雅英  東京大学 大学院医学系研究科 教授

クライオ電子顕微鏡の
リモート運用とデータ活用

田中 和昭  日本電子株式会社
サービス企画推進本部長

次世代ネットワークが広げる
電子顕微鏡利用の可能性

佐瀬 一郎  株式会社ニコン ヘルスケア事業部
技術統括部 システム開発部長

リモートバイオDXの社会実装に向けて

高橋 恒一  理化学研究所
生命機能科学研究センター
チームリーダー

AIロボット駆動と生命科学の将来

総括 岡田 康志 東京大学 大学院医学系研究科 教授